

〔長久手町業務評価票：平成 18 年度業務〕

課係NO・業務NO	- .	総合計画	4 節 1 項	学校施設の設備充実
担当課・係名	学校教育課 庶務教育係【問合せ・質問等の先（内線番号） 5 4 5 番】			

業務の名称	学校施設の管理					
(1)根拠法令・条例	学校施設の確保に関する政令、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律					
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 40.7% (係の総業務量を100%とする) 職員延人数：146.9人・日 (臨時雇用者延人数：0.0人・日)					
(3)事業費 (人件費分を除く)	390,145千円(平成18年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))					
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	0.0%(平成18年度実績)					
(5)業務期間	開始した年度	年度	終了(予定)年度	年度		
(6)業務の概要(簡潔に箇条書きで記載)						
業務目的(達成目標)	児童・生徒がいつでも安全に学校施設を利用できる環境を整える。					
業務が対象とする住民(地域、層)	小中学校の児童生徒及び教諭					
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	学校施設の保守管理。修繕工事。備品の管理。施設台帳の作成。					
業務の実施結果 (平成18年度実績)	保守管理等は順調に進んでいるが、修繕料などが年々増加している。					
	【業務結果の説明指標】					
		結果の説明指標	17年度	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
1	保守管理合計金額(千円)		18,267	24,338	-	-
2	修繕工事合計金額(千円)		12,682	18,872	-	-
3	備品購入合計金額(千円)		40,576	50,436	-	-
4						
5						
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	本年度もケガもなく安全に学校施設を利用できた					
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】					
		成果の説明指標	17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
1						
2						
3						
4						
5						

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
経年劣化し始めた施設が多くなってきたので、施設の見直し及び改修が必要となってきた。年々増加している児童生徒数に対し施設の不足が懸念される。

(8)改善実績（過去3年間の実績）

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3 点
		平均 3.0点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） . 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
評価理由	各校において購入備品等の統一が図られていないので統一化を図りたい。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
購入備品等の統一を図っていきたい。